

# 農業の新しい技術

No.561 (平成18年1月)

分類コード 01 - 14

熊本県農林水産部

## 褐毛和種種雄牛「鶴光重」の選抜

農業研究センター畜産研究所生産基礎技術研究室

担当者：北 伸祐

### 研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力間接検定を実施し、その肥育及び枝肉成績により優秀な種雄牛を選抜する。

### 研究の成果

- 産肉能力がバランス良く優れた褐毛和種種雄牛「鶴光重」を選抜した。

#### 血統

父 第三光重(繁殖29)

母 もりひさ(産肉261)

祖父 光重 E T (育高1)

祖母 くさふく(高3414)

祖父 第二重光(特級86)

祖母 しげもり(1級45853)

登録番号：繁殖107

生年月日：平成12年9月3日

生産地：阿蘇郡高森町

- 間接検定成績

1日当たり増体量(DG)は1.07kgと基幹種雄牛の間接検定成績平均値(以下基幹種雄牛平均)1.05kgより高い成績であった。

枝肉重量は、441.3kgと基幹種雄牛平均422.1kgより約20kg高く、歴代9位であった。

脂肪交雑については2.21と高い値を示したが、基幹種雄牛平均2.49に比べ若干低かった。

ロース芯面積は、57.7cm<sup>2</sup>で歴代1位であり、基幹種雄牛平均47.6cm<sup>2</sup>に比べ非常に優れた成績であった。

- フィールド成績による遺伝的評価値

後代がどれだけ改良されるかを予測した遺伝的評価値である期待後代差(EPD)では、評価種雄牛274頭中枝肉重量で16位、脂肪交雑で4位であった。

### 普及上の留意点

脂肪交雑は、間接検定においては基幹種雄牛よりやや低かったが、遺伝的評価(EPD)では+1.11(275頭中4位)と高く、高い能力が期待される。



鶴 光 重

表 1 産肉能力間接検定成績（発育成績および飼料摂取量）

月 齡	体 高	体 重	1 日 当 た	1 kg 増 体 当 た
開始時 終了時	開始時 終了時	開始時 終了時	り 増 体 量	T D N D C P
(月)	(cm)	(kg)	(kg)	(kg)
11.0 21.8	122.2 137.6	358.0 708.9	1.07	7.30 0.90

表 2 産肉能力間接検定成績（枝肉成績）

枝肉重量	脂肪交雑	ロース	ばらの厚さ	皮下脂肪	歩 留
(kg)		芯面積	(cm)	の 厚 さ	基準値
		(cm <sup>2</sup> )		(cm)	(%)
441.3	2.21	57.7	6.3	2.4	73.6
(422)	(2.5)	(48)	(6.9)	(2.5)	

\* 表中下段( )内の数値は現有基幹種雄牛 10 頭の平均値

表 3 遺伝的評価値(EPD)

種雄牛名	後代牛数	1 日 当 り	枝肉重量	B M S N O .	ロース	ばらの	皮下脂肪
		増 体 量		(脂肪交雑)	芯面積	厚 さ	の 厚 さ
鶴光重	31	0.060	16.9	1.11	0.6	0.14	0.16
順 位		5	16	4	93	60	198
評価種雄牛数		274	274	272	263	263	263